

～男女共同参画であなたもわたしもハッピーに～

ウィズレター

2014年
8月
第12号



発行 市川市 総務部 男女共同参画課
市川市市川 1-24-2 電話 322-6700

市川市男女共同参画センター **ウィズ** W

男女共同参画センター（愛称 ウィズ）は、性別にかかわらず対等な立場であらゆる活動に参画し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の実現を目指すための拠点施設です。

愛称の“ウィズ”は、男女ともに、老いも若きもともにという意味が込められています。

◆登録団体をご紹介します

「登録団体」は、ウィズを利用しながら男女共同参画の推進に向けた活動を行っている団体で、現在 13 団体あります。今回は「生き生きシニアの会」をご紹介します。

生き生きシニアの会

本会の前身は、1982 年設立の「市川市女性問題懇話会・福祉部」。同会は 20 周年を迎えた後解散しましたが、会の理念を受け継ぎつつ新しい時代に対応し、かつ、楽しみながら緩やかに地域で活動する会でありたいと 2001 年 4 月に設立しました。

本会が目指す事業内容は、

- ①福祉、女性問題に関する学習会及び読書会
- ②高齢者向け健康教室、料理教室、施設見学会
- ③市議会傍聴、講演会・シンポジウム等に参加
- ④男女共同参画社会形成の促進に関する活動

など、多岐にわたります。



（施設見学の様子）

シニアが抱える様々な課題を持ちながらの活動で、自身の老化は勿論の事、配偶者、友人、そして時には子供にも先立たれるという経験も増えます。親しい人との別れは、高齢者に大きな打撃を与え、孤独感、不安感、抑うつ感が募り、ショックからなかなか立ち直ることができません。その時、忌憚なく話し合え、信頼に足る仲間がいたら、その存在はまさに宝と呼ぶにふさわしいものでしょう。私たちの会がそうした心地よい会であり、その結果「最期まで自分らしく」を生き抜く事ができれば、設立時の思いに近づくこととなります。ラゴーム（適度な）オムソーリ（悲しみの分かち合い）を大切に、これからも生き生きと活動し続けたいと思っています。学習会「家族の中に憲法をいかそう」、「介護保険改正について」を予定しています。興味のある方は、ぜひ覗いてみてください。（活動日時：毎月第 2 金曜日 13:30～16:00）

◆「女性・高齢者再デビュー推進フォーラム」を開催しました

7月19日（土）、当センター研修ホールにおいて、登録団体「ナルク市川」主催・市川市共催で、地域において仕事やボランティアに女性や高齢者の潜在力を活用する仕組みを考えるフォーラムを開催しました。

第1部は、山路憲夫氏（白梅学園大学教授）を講師に迎え、「今、地域に求められるもの」と題した基調講演を行いました。これからは都市部において急激に高齢化が進みます。在住地域で安心した生活を送り、いつまでも元気で活躍できるまちづくりには、地域で医療・看護・介護サービスを受ける体制を整え、生きがい就労や社会参加など、地域の中に多様な活躍の場をつくる必要があります。また、実現のためには横断的な取り組みがカギになるとお話いただきました。



（第1部 基調講演）

第2部では、「市川市シルバー人材センター」や「いちかわファミリー・サポート・センター」の活動紹介があり、市内での就労や社会参加のあり方を考える機会となりました。



（第2部 パネルディスカッション）

◆主催事業等のご案内

9月の講座をご案内します。詳細・申し込みは4階受付へ！

男女共同参画センター実施事業は下記URLからもご覧いただけます

⇒ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/gen05/1111000008.html>

日時・場所	事業名・内容
9月11日（木） 9月18日（木） 9月25日（木） 10：00～12：00 6階 研修室F	先着順で申込受付中 「就労支援講座～働くための一歩は、まずここから！～」 様々なワークを通して、働くための具体的なノウハウを学びます。 内 容 1日目：意識の整理 自分理解を行おう 2日目：社会で働くために、周囲との様々な調整を行おう 3日目：職場や面接場面を想定してのワーク ハローワークの利用方法 申込方法 電話（047-322-6700）でセンターへ申込んで下さい 対 象 結婚、出産、介護等で離職した方、働いたことのない方 定 員 30名 保 育 無料／10ヶ月～未就学児／先着10名 保育希望者は、9月3日までに事前予約してください